

2015年8月25日

静岡県連意見交換会

場所：静岡県静岡市清水産業・情報プラザ

時間：14:45～16:15（90分）

出席者：

日本 YEG：伴会長、石川雅章代表理事

日本ネットワーク委員会：吉田委員長、今泉、田沢、神林、篠田

静岡県連：勝又会長（伊東）、石清水会長（掛川）、田中会長（三島）、加藤会長（沼津）

平野会長（焼津）、福井会長（清水）、荒木会長（袋井）、名取会長（島田）、

伊藤会長（藤枝）、中山会長（浜松）、盛本会長（富士）、西川会長（富士宮）

1. 伴会長挨拶
2. 事業・各種団体との連携について

藤枝

元祖サッカーの街として、13年前に第1回全国大会を開催しました。藤枝商工会議所会頭杯として藤枝シニア草サッカー大会を開催している。会員の業種は居酒屋などの飲食業が4分の1を占めている。

島田

未来創造プロジェクトとして高校生を対象にして講演する。高校生に地域の魅力や地元企業の魅力を伝え、活躍する人材を増やし地域活性化に結び付けることを目的に開催している。会員の自己研鑽につながっている。富士山静岡空港とコラボし、JCと農青年部と共同でゴミ拾いから始めて地域を巻き込んだ活動になってきている。

掛川

ジュニアエコノミーカレッジを開催し、掛川出身の二宮尊徳の報徳思想を伝える。JCと共同で行っている。掛川風会議を通して市役所の若手職員と意見交換会を行った。今年で2回目となる。今後は政策提言につなげていきたい。その他に社会福祉協議会との意見交換会を行っている。

袋井

袋井遠州の花火大会が20回目を数える。商工会のころより屋台を出すということで先輩から引き継いだイベントです。ものを売るよろこびときびしさ、おもてなしの心を学んでいます。花火大会翌日には1500人のボランティアとともにゴミ拾いしている。

浜松

今年度 30 周年を迎えます。対外的な事業（地域向け事業）はありません。政策提言を毎年行っている。政策提言委員会にて提言し、事業委員会にて実現していくことを継続している。他地域 YEG との交流は、豊川 YEG・豊橋 YEG・飯田 YEG と愛遠信と交流を深めている。

伊東 YEG

この度、承認をいただき加入させていただいた。講師をお招きして勉強することが毎年継続的にある。地域貢献についても 2 月下旬に『まがり雛』が有名な佛現寺というお寺にて 120 の階段をひな壇にみたてて飾るということを青年部でやっていこうと考えている。また、商店街と協働して空き店舗を活用して飾ることを進めていきたいと思う。

三島

今年度で 20 周年を迎える。継続事業は毎年増えている。三島は古く伝統がある街で、地域資源はいっぱいある。どのように掘り起こして現代につなげていくかが課題である。三島朝市や三嶋大社などが有名で、11 月 23 日は新嘗祭を使つてのお祭りを復活させている。また農協の青年部とコラボして収穫祭をして、多くの子供たちも巻き込んでいきたいと考えている。他団体との交流については東部 5 YEG（三島・伊東・沼津・富士・富士宮）や J C とも深めている。

沼津

沼津の夏まつりでは商店街とも連携し開催している。地元の商業高校との共同や JA にも共同していただき物販などを行っている。会員数は 200 名にのぼり、ビジネス交流会に力を入れ、家族交流会 in 伊豆三津シーパラダイスとして会場を夜間に貸し切り、宝さがしゲームやイルカショーなどを観た。

若手後継者育成事業研修会として講師をお招きしコミュニケーション力アップの研修を開催し、12 月には『ビリギャル』の原作者・坪田信貴先生をお招きして公開事業を開催した。平成 31 年度に沼津に全国大会を招致し、地域連携の垣根を越えて東部伊豆地域を盛り上げていきたい。

富士宮

昨年、県青連に入会した。ビジョン委員会を設け、地元地域の調査検証をしている。商工会議所青年部を地域にもっとアピールしていきたい。

また 6 月には『富士山世界遺産登録 2 周年記念祭』にてキョードー東京との共催で『長洲剛の奉納ライブ』を開催した。浅間大社の境内においてライブが行われ、メンバーの達成感が高く、また今後の検証を行っていきたいと考える。

富士

会員数は125名を数える。『富士タイムズスクエアバル』事業は2回目を迎え、YEGのみではなく商店街や飲食店メンバーも実行委員会に構成している。

また、キャリア教育・職業講和・職業体験・産官学民が交わって進めていく。市内の高校の学生と生きる力を育もうとサマーインターシップを行い、9年目の事業として発表をした。親会や行政の活動に青年部がかかわることで付加価値を高めていくことも考えている。

伴会長

県連を超えて、飯田YEGは日本YEGに加入していないが交流があることが素晴らしい。富士宮YEGのように富士山の回りの委員会が交流を図るなどとてもいい活動だと思います。日本YEGの広報誌『石垣』によりよい活動を発表していただきたい。

友好青年4団体のトップ会談を年4回行います。先週奈良県橿原で、次回は石川県にてJCの設えでおこないます。各団体の違いを理解した上で1プラス1は3になる活動をしていただきたい。

《行政との活動について》

三島

三嶋大社で新嘗祭にてJAと組んで、3メートルの宝船にて野菜を盛って、3000人が行列になりお下がりをいただく企画をしている。時期を同じく行っている行政フードフェスティバルをしていたのを新嘗祭と合わせて3日間三島秋祭りとして移行している。行政から補助金もいただいている。

伊豆箱根鉄道も参画したり、様々な団体が参画して大きなお祭りになってきている。

《親会との関係について》

三村会頭は青年部に対して積極的な姿勢があります。YEGのブランド化を図っていききたいと思う。親会との関係で相談があれば、サポートできるのも日本YEGの役割だと考える。

《各種大会について》

浜松

全国大会はたくさんの方が集まる。80名参加させていただきます。

会長研修会について平成20年に浜松大会を行いました。キャラバンは控えめにし、式典のみにキャラバンを行いました。報告書は100ページほどでまとめさせていただきました。しっかりと振り返ることが大切で、なんのための会長研修会なのかを考える必要があると思う。

伴会長

春の会長会議で税制についてディスカッションを行いました。全国の単会会長からの意見を取りまとめ、税制委員会にて提言させていただきました。各ブロック大会で報告できると思う。

また、春の会長会議にて全国大会と会長研修会の分科会などをしっかりお伝えする機会をつくった。

焼津

巴塾について、ビジネスプランを行いました。業種別部会を通して活発な意見交換ができました。地域を超えて情報交換をすることでいい刺激になりました。単会でない刺激を積極的に外へ出て感じたいと思う。

伴会長

各種大会は外にでて学ぶことの意義があると思います。関東ブロック大会では海外交流という企画がある。日本に買いに来ている方とコラボレーションできる機会をビジネス交流委員会が企画し在日の商工会議所と組んで行いました。オーストラリア牛は25キロから買えます。ワインは1本から買えます。そんな事業を模索しております。

日光は大使館が多い場所ですので、そんな雰囲気を感じていただきたいと思います。

《単会事業の参加率について》

全国平均は50%の参加率です。千葉県連柏 YEG は90%の参加率で、ATの返答率は100%が基本です。参加率を上げるのは声掛けが基本で、声掛けしやすい委員会メンバー数で構成されている。

《メンバー数について》

全国会員数は32,000名で、1000人弱の純増をしている。伊東YEGなど5万人の人口で100人ぐらいいるところもある。会長研修会で意見交換していきたい。

島田

全国大会の大懇親会の日程について、静岡から京都の距離があり、懇親会の途中で帰りました。若手のメンバーから懇親会を楽しめなかったという意見があった。全国大会は遊びにいく感覚でしたが、その経験から先輩から学ぶことが多かったので、若手が参加しやすい内容にしていきたい。

会長研修会について、県連の役員会にて昨年の筆頭副会長として秋の会長研修会で、春と秋で同じテーブルで話し合っていたところ、孤立感があった。春は税制の話について、理解できなかったところがあった。もっと交流できる機会が欲しかったと思う。

伴会長

春の会長会議は日本 Y E G 主催として、税制提言について全国の単会会長の思いを提言に載せていきたくかった。単会会長のディスカッションはブロックで考えており、ブロック大会の中の会長会議は日本主催だと考えてください。

島田

京都大会では舞妓さんをみさせていただき、非常に重要な体験ができた。島田は石垣にも掲載させていただいた。日本 Y E G の活動には非常に感謝している。

伴会長

皆さんが日本 Y E G だという意識をもっていただき、大会にご参加いただけたらと思う。

焼津

全国大会の申込みの告知について、分科会を声掛けするのがカギだと思う。申込みの期間について告知が不明な点がある。公平に告知していただきたい。

伴会長

告知はしておりますが、わかりやすいような告知をしていきたいと思う。
ブロック大会にて直接会長さんに説明する機会を持ちたいと思う。

浜松

今年度、税制について春の会長会議で討論した。浜松でも提言しているが、全国で提言書を作成しているところは各単会で多いと思う。情報集約と発信を担っていただきたい。
地域性が分かり参考になると思う

伴会長

J C では政策提言コンテストをおこない、閲覧できるようになっている。Y E G でも検討していきたいと思う。

3. 集合写真

4. 閉会